



■プロフィール

面積 170.28平方キロメートル

人口 10,881人 (H22国勢調査)

世帯数 3,482世帯 (H22国勢調査)

役場 〒949-8292

津南町大字下船渡戊585番地

TEL 025-765-3111

FAX 025-765-4625

URL <http://www.town.tsunan.niigata.jp/>

■概要 津南町はこんなところ

津南町は新潟県の南端にあって、長野県と境を接しています。町には大河信濃川が流れ、これに合流する三つの清流に沿って日本一ともいわれる雄大な河岸段丘が形成されています。段丘上には広大な農地が広がり、魚沼コシヒカリ、アスパラガス、スイートコーン、雪下にんじんなど、真面目な農家とピュアな水で育てられた安全、安心な農作物が生産されています。

日本有数の豪雪地帯ですが、雪が解け春になると新緑のブナが芽吹き、夏は50万本のひまわりが咲き誇り、秋は全山紅葉と季節の移り変わりをはっきりと感じることができる町です。



雄大な河岸段丘

■津南の歴史 大昔から人が住んでいました。

津南町は縄文時代には「縄文銀座」といわれるほど多くの縄文集落が形成され、多くの縄文人が住ん

でいました。町で出土された火焰型土器1点が昨年大英博物館に展示され、世界中の注目を浴びました。



津南町から出土された土器の一部

■津南町のみどころ

【日本の里の原風景 秘境 秋山郷】

平家の落人伝説が残る秘境秋山郷は、信濃川の支流である中津川の上流に位置する越後7集落と信州5集落の総称で、東を日本百名山の一つ苗場山に、西を鳥甲山に囲まれた山間地域です。日本の秘境100選にも選ばれており、新緑、紅葉の季節には多くの旅行者やカメラマンが訪れます。

江戸時代の文人、鈴木牧之はこの地を訪れ、景観を絶賛し、人々との交流で命の洗濯をしたと感嘆しています。



秋山郷中津川溪谷の紅葉

【森が心とからだを癒す 森林セラピー】

津南町の樽田のブナ林周辺は、生理実験の結果、都市部に比べて収縮期血圧、脈拍数、唾液中コルチゾール（ストレスホルモン）が有意に低いことが証明され、新潟県内初となる森林セラピー基地として認定されました。目に見えない不思議な力、「癒し」はここに存在しています。



森林セラピーロード

【夏の風物詩 ひまわり畑】

夏真っ只中の7月中旬から8月中旬、津南町はひまわりで黄色に染まります。このひまわりは、町の農業青年が遊び心で蒔いたのがきっかけで、今では50万本もの大輪を沖の原の広大な畑に咲かせるようになりました。



津南のひまわり畑

■津南町の施策**【子育て支援】**

年々進む少子化により、地域の子育て機能が弱まってきています。子育て支援センターは子どもの健やかな成長の促進と、安心して子育てできる環境づくりを目的に開設され、親子の交流や情報交換の場の提供をはじめ子育て家庭への様々な支援を行っています。

【克雪住宅支援】

年によっては3メートルを超える積雪を記録する津南町。住宅の雪処理は冬期間の重要課題となっています。町では、克雪住宅や落雪住宅に対する補助事業を実施しています。

【新規就農者支援】

町では高原に拓かれた広大な台地に大型農業経営を展開する、やる気のある新規就農者を募っています。町に定住していただくことを前提として、農業研修や農業経営に必要な様々な助成制度を実施しています。



広大な農地で農業しませんか。

■日本ジオパークの認定を目指して

日本一といわれる9段の河岸段丘、苗場山の火山活動によって生まれた苗場山山頂の高層湿原や中津川溪谷の柱状節理、秋山郷の民俗、旧石器時代から縄文時代までの遺跡群等々、津南町には世界的にも珍しい、また、科学的にも重要な自然・文化遺産があり、これらを中心に現在「日本ジオパーク」の認定を目指しています。



中津川溪谷の柱状節理